

やはば

議会だより

238

2026.10.23

岩手県
矢巾町議会



矢巾東小学校の森林教室
(関連記事 P 24)

予算決算常任委員会で審議

令和7年度 町の家計簿をチェック 2～5

町政を問う

11名の議員が一般質問 9～20

2年間（令和7・8年度）の活動を報告

12月に町民と語る議会フォーラムを開催します 21



過去の議案書などは
町議会ホームページ
に掲載中

令和7年度の決算を徹底チェック!



令和8年矢巾町議会定例会9月会議では、令和7年度決算に関する審議が行われました。
審議のうち、9月15日に行われた総括質疑の内容の一部を報告します。

一般会計

財政運営

質問 公債費負担比率が前年度比で1.3%改善されたことを、どう評価しているか。

回答 公債費負担比率は今後数年で減少傾向に進むと捉えており、それにより財政に余裕が生まれると考える。

質問 財政調整基金の取り崩しで実質単年度収支が赤字となったのは、一時的か。

回答 財政調整基金からの繰入が多い年度であったのは一時的な要因による。基金残高は基準財政需要額の10%を下回らないよう維持したい。

質問 決算で明らかにになった課題や成果を次の予算編成に活かすことが重要。どのように反映させる考えか。

回答 基金の繰入が多かったことを踏まえ、8年度当初予算では基金の繰入を抑制。9年度においても、将来構想上の大規模事業もあることから、

各課とのヒアリング時間を十分に設け、細かいところまで突き詰めて編成したい。

質問 事業の見直しが重要。見直しや廃止による予算や支出の削減効果を一覧にまとめ、示す考えはないか。

回答 一覧にまとめ、示せるよう対応していく。また、予算や決算のあり方の議論を進める。今後は、フューチャードesignと*スマートシュリンクの考え方を導入した指針を示し、事務事業の運営に取り組んでいきたい。

質問 予算執行に関する報告書の内容がもっと濃いものになることを望む。事業実績と総合計画の指標を結び付け、課題や成果を明瞭にしては。

回答 実績数値のみの記載ではなく、総合計画に対する効果などを含めた報告となるよう改善を図る。

税収対策

質問 滞納繰越額が増加した。この状況が財政運営に与える

影響をどう捉えているか。また、今後の目標と滞納繰越額の縮減に取り組む考えは。

回答 これまでの滞納整理に係る事務では不十分と認識。

8年度は早急な財産調査、迅速な差し押さえを行っており、滞納を増やさない取り組みを継続していく。

質問 新規滞納を防ぐための入口の対策は。

回答 広報やホームページでの周知は当然行い、常に一人ひとりが納期限に納めるとい

う意識を持っていただく呼びかけを実施する。

防災対策

質問 防災対策は「伝わる」ことが最初の段階で重要。

7年度は防災ラジオやJアラート全国瞬時警報システムの更新など、情報伝達の整備に取り組まれたが、次の段階で重点を置く防災課題は何か。

回答 一番大切な「避難行動にどうつなげるか」が大きな課題。周知・訓練を日常的に強化していきたい。



令和8年度矢巾町総合防災訓練での土のう作製訓練

空き家対策

質問 空き家を利用したお話し住宅などの考えはないか。

回答 現在は空き家の所有者への意向調査を進めている。意向を踏まえながら、次の段階として何が可能か、所有者と共に状況を確認しながら進めていきたい。

町営住宅

質問 町営住宅への入居のニーズをどう把握しているか。

回答 老朽化が著しい矢巾住宅や高田住宅にお住まいの方を対象にアンケート調査を行い、転居を希望される方は優先的に別の町営住宅への転居を促した。町営住宅入居への応募者は年々減少傾向と捉えている。

河川管理

質問 河川の雑物除去が地域の負担となっていないか。

回答 一級河川については地域の状況を踏まえて県に相談している。各状況を確認し、できる限り対応していきたい。

特産品開発

質問 特産品開発にあたり、町内事業者や生産者の販路拡大、所得向上、地域産業の育成を考えているか。

回答 特産品開発は、町産の農産品を使うことが前提。農商工共創協議会では町内4者が連携し、ひまわりをモチーフにしたクッキーとコーヒーマスターの商品を開発。引き続き、このような取り組みの支援にも対応したい。

ふるさと納税

質問 ふるさと納税の寄付額第1位が動物保護シエルターへの応援寄付であったが、このシエルターの実態がよく掴めない。

回答 紹介であっても、町のチェックが必要なのではないか。
回答 国において、ふるさと納税は厳格化されており、登録内容は県を通じて事前に審査を受けているものである。



令和8年度に開発した商品（農商工共創協議会）

ヤングケアラー

質問 こども若者計画策定にあたり、こども若者の実態や課題をどう把握したのか。

回答 また、ヤングケアラーの状況はどうか。

回答 18歳未満の方は計画策定前に調査を実施。また、若者を対象としたアンケートやワークショップを実施し、意見を聴取。

ヤングケアラー調査は児童生徒を対象に2年に1回実施しており、現在1件の支援。

煙山保育園

質問 煙山保育園は公立として何を重点化するのか。私立との役割分担など、人口減少を見据えた町全体の保育提供体制の考えは。

回答 町内唯一の公立保育園として中核的な役割を担う。こども誰でも通園制度のような国の新規事業の受け皿であることも重要と認識。医療的ケア児などの支援が必要な子どもたちの保育環境の整備などは、継続して取り組んでいきたい。

産後ケア

質問 産後ケアは、専門機関への接続など切れ目のない支援を行っているか。

回答 母子手帳交付時や各種検診で実態を把握。支援が必要な方に支援メニューを活用いただく。ニーズの把握や周知に今後も取り組んでいく。

多世代交流の場

質問 えんじょいセンターは多世代が集まれる施設としてもう少し工夫が必要では。

回答 多世代が交流できる場を設けることは重要と認識。機会を捉えて体制を検討する。

学校適応支援員

質問 学校の適応支援員を増員した効果は、教職員のみならず児童生徒にどう行き届いているか。

回答 増員によって各学校に校内支援センターの設置拡充が図られた。これにより常駐の支援員を配置でき、常に子どもたちを支援できる体制が整った。

令和7年度決算概要

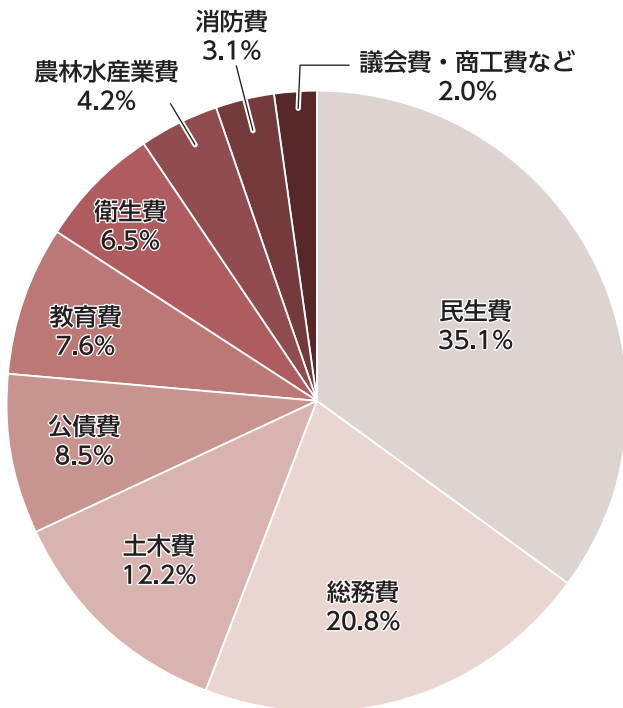
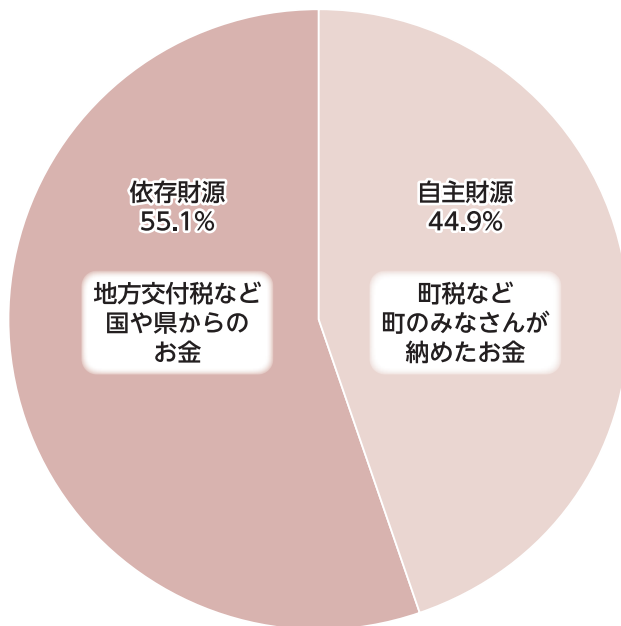
一般会計の令和7年度予算執行状況

歳出（使ったお金）

138億5,282万2千円

歳入（入ってきたお金）

144億3,032万2千円



令和7年度の各会計決算額

会 計 名			収 入 額	支 出 額
一 般 会 計			144億3,032万2千円	138億5,282万2千円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 会 計		25億5,035万9千円	25億2,635万1千円
	介 護 保 険 事 業 会 計		27億5,469万1千円	25億5,472万4千円
	後 期 高 齢 者 医 療 会 計		3億5,682万1千円	3億5,179万7千円
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計	収 益 的	9億2,067万8千円	7億1,320万5千円
		資 本 的	5,059万4千円	4億9,710万7千円
	下 水 道 事 業 会 計	公 共 下 水 道 事 業	収 益 的	8億6,586万4千円
			資 本 的	2億7,612万円
		農 業 集 落 排 水 事 業	収 益 的	2億9,466万4千円
			資 本 的	8,723万3千円

詳しくは

令和7年度決算の詳細は、矢巾町ホームページに掲載されています。



※金額はすべて千円未満切捨て掲載しています。

いわてやはば議会だより238号
令和8年10月23日発行

討論

令和7年度の決算8議案に
対し、2名の議員が反対と賛
成、それぞれの立場で討論を
行いました。

反対 小川 文子 議員

1点目は、財源確保に重要
なふるさと納税の取り組みに
ついてです。残念ながら返礼
品数が少ないなどの課題があ
り、寄付額は8,000万円
ほどにとどまっています。

令和7年度の返礼品第1位
は、動物保護シェルターへの
応援寄付でしたが、ふるさと
納税は本町の農産物、そして
魅力を再認識し、発信してい
く場に立ち返るべきです。

仲介業者任せにせず、町の
責任でしっかりとチェックを
行うことを願います。

2点目は、南昌みらい高校
体育館の建設をめぐる一連の
経過についてです。議会や町
民への説明責任が果たしてい
ないことは、重要な課題だと
思います。

以上の2点により反対討論
といたします。

賛成 村松 信一 議員

令和7年度決算の賛成討論
に先立ち、ギャンブル依存症
更生施設の開設判断について
話します。

3年ほど前に、ギャンブル
依存症更生施設の開設を許可
した町長の判断については、
私は改めて、極めて高く評価
をしたいと思います。

町長の判断は単なる社会的
施策ではなく、人を見捨てな
い町、再チャレンジを支える
町という、矢巾町を体現する
政策判断であり、私はこの姿
勢を議会として正当に評価す
べきと考えます。再び社会に
戻り、家族や地域の中で自分
らしく生き直すことを、願
い支える町の姿勢こそ、地方自
治の役割であると思います。
1人でも多くの方が更生し
早い社会復帰を願ひ、賛成討
論といたします。

令和7年度決算

7項目の付帯意見を付して認定

令和8年9月18日、予算決算常任委員会の昆秀一委員長は7項目の付帯意見を
付したうえで認定すべきとの意見書を議長に提出し、賛成多数で認定しました。

付帯意見 7項目

1 町税および国民健康保
険税などの滞納の要因を
把握・分析し、生活困窮
などにより支援が必要
な

よび費用対効果を検証
し、適正な事業の実施に
努められたい。

保のため、返礼品に本町
の農産物などを取り入れ
積極的に展開されたい。

2 各事業の決算において
は成果・住民福祉の効
果・費用対効果を検証
し、事業の継続・改善・
廃止などの判断に反映さ
れたい。

3 空き家対策は相談体制
の充実を図り、移住およ
び短期利用などの有効活
用を推進されたい。

4 不登校対策は、保護
者・学校・教育委員会お
よび地域が連携して児童
生徒に寄り添った、より
きめ細やかな早期対応と
相談環境の充実に取り組
まれたい。

5 近年の線状降水帯・集
中豪雨などを踏まえ、田
んぼダムなど災害に対す
る予防保全対策を推進す
るとともに、自主防災組
織による実践的な防災訓
練を強化されたい。

6 委託料は業務内容、契
約方法、委託の必要性お

ふるさと納税は財源確



人事案件や条例改正、補正予算など すべて原案どおり可決

一般会計の総額は126億3,841万2千円に

議会で決めたこと

7月会議

補正予算

主な歳入

▽物価高騰対応重点支援地方
創生臨時交付金
2,363万5千円

▽財政調整基金繰入金
2,314万4千円

主な歳出

▼国民保養センター事業性評
価支援業務委託料
130万9千円

▼ひとり親家庭物価高騰対策
支援給付金
780万円

▼私立学校等物価高騰対策支
援補助金
110万円

▼共同調理場運営事業・賄材
料代
984万8千円

主な質疑

【質問】国民保養センターの評
価を外部に委託すると言ったが、
委託期間と評価結果の用途は。

【回答】9月中旬を目途に評価
を行い、その評価内容をまず
は議員に共有したい。



矢巾町国民保養センター（南昌）

9月会議

人事

固定資産評価審査 委員会委員

藤原 隆孝 さん
（南矢幅9区）
新任・任期3年

教育委員

掛川 はるな さん
（矢巾2区）
再任・任期4年

補正予算

主な歳入

▽地方特例交付金
1,077万9千円

▽障害者自立支援給付費負担
金
80万円

▽社会資本整備総合交付金
2,750万円

▽減債基金繰入金
3,260万2千円

▽公共事業等債
2,260万円

▽緊急自然災害防止対策事業
債
7,440万円

▽緊急浚渫推進事業債
1,000万円

主な歳出

▼コミュニティ施設等整備事
業・防犯灯設置事業補助金
17万5千円

▼電子計算業務運営事業・生
成AIサービス導入業務委
託料
37万5千円

▼児童館維持管理事業・工事
請負費
959万8千円

▼予防接種事業・各種定期B
類予防接種業務委託料
1,914万8千円

▼ひまわりパーク維持管理事
業・工事請負費
74万4千円

▼道路維持管理事業・工事請
負費
6,455万9千円

▼除雪事業・除雪業務委託料
1億4,625万2千円

▼河川管理事業・河川中州除
去業務委託料
1,000万円

▼生活道路事業・工事請負費
429万7千円

▼小学校維持管理事業・工事
請負費
800万円

主な質疑

【質問】生成AI導入の内容は。

【回答】現在、職員アンケート
や企業提案により詳細を検討。
年内に契約を行い、翌年1月
から3月分の導入予算として
約38万円を見込んでいます。

質問 児童館の工事内容は。

回答 煙山児童館の屋根に太陽光パネルを設置し、併せて蓄電池も備え付ける。

太陽光発電の電力を煙山児童館で自家消費する計画。

質問 インフルエンザの予防接種の開始時期は。また、助成額の変動はあるか。

回答 10月開始を予定。
インフルエンザワクチンの接種は自由診療であるが、助成額は昨年同様の予定。

質問 小学校の工事請負費の内容は。また、突発的に発生したものの。

回答 徳田および不動小学校での、昨年に引き続き雨漏り改修工事である。

今回の工事で雨漏り対策は完了する見込み。

質問 ひまわりパークの工事内容は。また、今年度のイベント実施の結果は。

回答 ウッドチップ舗装で多少の碎石を入れる工事。
イベントは4日間で来場者

約13,000人。初の試みでクラウドファンディングを

みなさんからの請願

●8請願第1号

子どものゆたかな学びの実現のため、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担率の引き上げに係る意見書採択を求める請願

▽請願者

岩手県教職員組合いわて盛岡支部支部長 青野大祐

▽紹介議員

横澤駿一

▽審査意見（教育民生）

教育条件の地域間格差を是正し、教育の機会均等を保障するためには、国の責任において必要な財源を安定的に確保し、義務教育費国庫負担率を引き上げることが重要である。教職員定数の改善および義務教育費国庫負担率の引き上げを求める本請願の趣旨は妥当であり、採択すべきものと判断した。

▽採択結果

採択

賛成16人・反対0人

実施。目標額には届かなかったが、今後も継続したい。

●8請願第2号

令和8年度産米の再生産可能な価格確保と農業者への支援を求める請願

▽請願者

岩手中央農業協同組合 代表理事組合長 佐々木雅博

▽紹介議員

水本淳一

小笠原佳子

▽審査意見（産業建設）

農業が基幹産業である本町において、米の生産に必要な経費が高止まりしている情勢の中での米価低迷は、生産者にとって大打撃である。

本町の農業者はもとより、

日本全国の農業者が将来にわたり安心して営農を継続できる環境整備・食料安全保障確保は、国に対して強く対策を求める必要があり、本請願の趣旨は大いに理解できるものと判断し、全会一致で採択すべきものと決定した。

▽採択結果

採択

賛成16人・反対0人

監査委員の目線

令和7年度

決算審査の内容

監査委員の役割

監査委員には、法律や条例などのルールに則して町のお金为正しく使われているか、事業が無駄なく効率的に行われているかなどを、議会や町執行部局などから独立した立場でチェックし、住民の福祉の増進に資するよう行財政の健全な運営を促すという役割があります。

決算審査について

決算審査とは、前年度1年間分について、適正な行財政運営ができていたかをチェックするものです。

9月2日の本会議で、高橋憲康代表監査委員から、令和7年度決算審査意見書について、その要旨の説明がありました。

審査意見書の要旨

要旨

今回の決算審査では、諸計数は関係書類と符合し、予算執行および財産管理についても、おおむね適正であると認めました。また、実質収支や主要な財政指標などから、財政運営も、おおむね健全な状態にあるものと判断しました。

一方で、決算の背景にある財務事務では、調定や支払い、過年度収入、過年度支出、納期限経過後の督促、契約・委託における履行確認、補助金の実績確認などにおいて、不適切な対応が散見され、中には複数の課に共通する課題もあり、適正な財務管理の観点から、改善が必要と考えます。

執行部局においては、組織として、事務手順の標準化、チェック体制の充実、管理職による進捗管理、定期的な自己点検などに一層努め、住民からの信頼に応える行財政運営に取り組まれるよう期待します。

各議案の採決状況

議案番号	提出議案	議員名																採決結果
		高橋恵	高橋敬太	横澤駿一	ササキマサヒロ	吉田喜博	藤原信悦	齊藤勝浩	小川文子	木村豊	小笠原佳子	山本好章	高橋安子	水本淳一	村松信一	昆秀一	赤丸秀雄	谷上知子

令和8年定例会7月会議（7月16日）

議案第37号	令和8年度矢巾町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第38号	令和8年度矢巾町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和8年定例会7月第2回会議（7月28日）

議案第39号	町道中村6号線道路改良工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
--------	----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

令和8年定例会9月会議（9月2日～18日）

議案第40号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第41号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第42号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第43号	矢巾町特別職報酬等審議会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第44号	矢巾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第45号	矢巾町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第46号	異常気象による災害の被害者に対する町税の減免に関する条例廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第47号	盛岡・紫波地区環境施設組合規約の一部変更協議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第48号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第49号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第50号	令和8年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第51号	令和8年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第52号	令和8年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第53号	令和8年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第54号	令和8年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第55号	令和8年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第56号	令和7年度矢巾町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第57号	令和7年度矢巾町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	令和7年度矢巾町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第59号	令和7年度矢巾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	令和7年度矢巾町水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第61号	令和7年度矢巾町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第62号	令和7年度矢巾町下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第63号	令和7年度矢巾町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第64号	矢巾町立中学校体育館空調設備整備工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
8請願第1号	子どものゆたかな学びの実現のため、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担率の引き上げを求める意見書採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
8請願第2号	令和8年産米の再生産可能な価格確保と農業者への支援を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議案第3号	子どものゆたかな学びの実現のため、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担率の引き上げを求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第4号	令和8年産米の再生産可能な価格確保と農業者への支援を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○＝原案に賛成 ●＝原案に反対 欠＝欠席 可＝可決 否＝否決 退＝退席 注：廣田清実議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。9月会議では議員11人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

● 村 松 信 一 議員 …………… P10

- ① 公共施設等総合管理計画改定版について
- ② 個別最適な学び・才能の伸長について

● 小笠原 佳 子 議員 …………… P11

- ① 子どもの学びの充実は、まちづくりにつながる
- ② 学校の防災点検について
- ③ 大規模災害時の受援計画の策定状況と実効性

● 谷 上 知 子 議員 …………… P12

- ① 子どもの遊びを大切にする町
- ② 農家分家建設の条件について
- ③ 教育関連機関や住宅地でのクマ対策について

● 赤 丸 秀 雄 議員 …………… P13

- ① 小中学校の熱中症対策と体育授業を含めた運動のあり方について
- ② 災害防止に向けた取り組みについて

● 藤 原 信 悦 議員 …………… P14

- ① 「学びの多様化」への取り組みについて
- ② 起業支援で地域経済の活性化を
- ③ 相続人が不確定な土地・建物の管理について

● 齊 藤 勝 浩 議員 …………… P15

- ① 現代社会の様々な環境変化への対応について
- ② 子育て環境の充実に向けた取り組みについて

● 山 本 好 章 議員 …………… P16

- ① 学校図書・図書センターの図書管理と利用促進について
- ② 学校再編整備計画について

● 横 澤 駿 一 議員 …………… P17

- ① 魅力溢れる消防団活動に向けて
- ② 持続可能な農政と農村地域の活性化に向けて

● 高 橋 敬 太 議員 …………… P18

- ① こどもの心の健康観察について
- ② コミュニティの今後のあり方および負担の軽減と地域間差について
- ③ 子育て世帯への支援について
- ④ 町民の声を施策に反映し、課題解決するための効果的な計画策定の考えは

● 小 川 文 子 議員 …………… P19

- ① 南昌みらい高校の新体育館建設を巡る現状と住民への説明について
- ② 町立学校再編計画について
- ③ ごみ処理広域化計画とごみの減量・資源化は

● 昆 秀 一 議員 …………… P20

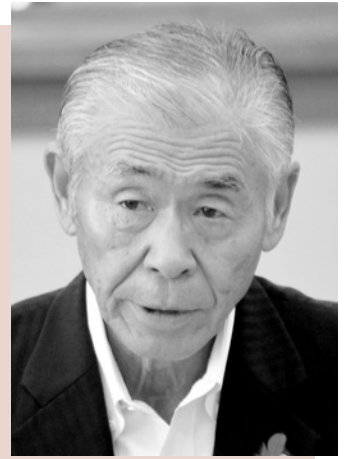
- ① 自治体における「宣言」の意義と今後の活用
- ② 持続可能な行財政運営と自治体経営
- ③ ハラスメントのないまちづくり

一般質問通告書は、
矢巾町議会ホームページに
掲載しています。



※一般質問の様子(録画)はYouTubeでご覧いただけますが、音声と表示文字があていない場合があります。議会での修正はできませんので、あらかじめご了承ください。

施設の管理計画改正点は 統廃合・複合化の検討明確化



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(未来創造の会)

動画は
こちら



質問 公共施設総合管理計画が改定されたが、個別の計画との連携は。

町長 公共施設総合管理計画を上位の基本方針として、学校、道路、上下水道などの個別計画を体系的に位置づけ、連携を図っている。

質問 統廃合・複合化の検討や、長寿命化の優先順位は。

町長 既存施設の縮減を掲げ、管理状況や活用状況を評価検証し、中長期的な視点で検討する。特に施設の更新時は、他施設との統廃合、機能の複合化を第一に検討することを明記した。

長寿命化は定期的な点検、診断結果や施設カルテに基づき劣化度合いや利用状況などで判断する。

質問 公共施設総合管理計画の旧計画では、各小学校や児童館は現状維持の方針であったが、計画改定後は機能移転集約化という方針に変更となった。その理由は。

町長 今後、施設の稼働率が低くなる可能性があり、機能を将来にわたり維持するため、他の施設への機能移転、集約化の方向で検討することとした。学校再編などの議論と併せて、利用者や地域の意見を伺いながら進める。



農業体験による食料の重要性を学習（矢巾中学校）

質問 管理計画運用には数値目標・フォローアップ体制を明確にする必要があるのでは。

町長 第8次矢巾町総合計画の指標進捗状況や、個別施設計画の見直しに併せて検討していく。

高度な学びの 支援体制は

希望する子どもに
効果的機会を創出

質問 学習進度が早い、児童生徒への対応は。

教育長 発展的な学習課題の提供や探究的な学習の機会により、きめ細やかな指導を実施。

質問 才能の伸長を目的とした教育支援の必要性の考えは。

教育長 将来の持続可能な社会の創り手を育成する上で極めて重要と認識している。

質問 高度な学びを希望する子どもへの科学オリンピックなどの参加支援はあるか。

教育長 高度な学びや挑戦を希望する児童生徒に対し効果的な機会の創出を検討する。

質問 将来の科学技術人材育成に向けた長期的なビジョンを持つ考えは。

教育長 技術革新が進む現代において、科学技術や医療、情報などの分野で活躍する人材育成は、本町の持続的な発展にとって不可欠な課題。高等教育機関などとの連携を深める中で検討する。



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)

動画は
こちら



子どもの学びの充実を 探究的な学びにより

質問 視察した秋田県東成瀬村では子どもの学びをまちづくりにつなぐため、探究的な学びを小中連携により、地域全体で進めていた。本町での取り組みは。

教育長 探究的な学びは重要である。総合的な学習の時間で地域住民の皆様と実社会や地域と結びついた体験を重ねている。

質問 不登校の未然防止と早期対応に向け、学校・家庭・地域が連携した支援体制は。

教育長 小さな変化を見逃さず、即時対応を図る。教育支援センターや適応支援員、スクールカウンセラーなどと連携し、安心できる居場所づくりと学習支援を進める。

学校の防災点検

年1回6月に実施

質問 今年度の防災点検内容は。また、臨時点検を行わない判断理由は。

今後の避難訓練や危機管理マニュアル見直しは。

教育長 防火戸や防火シャッターの安全性を確認した。臨時点検は通常点検で安全

を確認したため行わなかった。今後もマニュアルの随時見直しと実効性の高い防災教育を進める。

大規模災害時の 受援計画は

必要な改定を行う

質問 人的受援計画の策定状況は。また、急増する業務の整理はできているのか。



地域学校協働活動推進員打ち合わせ (文化スポーツ課提供)

町長 令和4年3月策定。また、災害時の支援要請や罹災証明、被災者支援などの業務を整理し、受援体制を運用している。

質問 応援要請の判断責任は。また、災害時相互応援協定数など、熊本地震を踏まえた点検は。

町長 応援要請は災害対策本部長がちゅうちよなく行うこととする。また、相互応援協定を岩手県内全市町村と締結。熊本地震を踏まえ、計画の点検と必要な改定を行う。

質問 大規模災害時の職員参集についての考えは。

町長 シミュレーションにおいて地震時は、発災30分後64名、60分後122名、90分後174名、180分後で184名参集可能と想定。

質問 災害発生後の証明書発行対応の見込みは。

町長 税務課職員のみで対応できる建物の棟数は500から550棟が上限と想定。

子どもの遊びが大切な町

生きる力が育つ貴重な時間



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら



質問 子どもの遊びを大切に
することについての考えは。

教育長 子どもの遊びの本質
は、人間性成形への自発的
ライアルといえる。

遊びはヒトという動物種が
固有にもつ「製作的本能」の
現れで、ヒトはルソーが言う
ように、自立性のとても弱い
存在であり、外部からの刺激
とサポートがなければ、その
性質を身に着けることはでき
ない。

子どもが人間性豊かに育つ
には、それを促す環境と、言
葉をかけ刺激を与える家族や
周囲の人々が必要と考えてい
る。人間性豊かな個人に成長
するためには、人間性の根源
にある自然性と響き合うこと
が不可欠であり、自然体験を
重ねることが重要と考える。



子どもの安全を守って (高田3区老人クラブ)

質問 自然が体験できる広域
的な都市公園建設の考えは。

町長 予定はない。

農家分家の 建築基準は

岩手県が定める開 発許可基準による

質問 農家分家の建築基準は。

町長 市街化調整区域内につ
いては、都市計画法における
開発許可制度に基づく岩手県
が定める開発許可基準による。

① 本家たる世帯が継続して
市街化調整区域内に生活の本
拠を有し、市街化区域内に住
宅建設が可能な土地を所有し
ていないこと、② 分家住宅を
建築しようとする土地が市街
化調整区域の決定前から本家

たる世帯が所有していたもの
であること、③ 分家住宅を建
設しようとする方が、現にま
たは過去に本家たる世帯と住
居および生計が同一の世帯構
成員であり、本家たる世帯主
からみて6親等以内の血族ま
たは配偶者もしくは3親等以
内の姻族であること、などが
分家住宅建設に係る許可の主
な基準となっている。

住宅地や教育機 関のクマ対策は

ホームページなど で注意喚起

質問 住宅地や教育機関での
クマ対策は。

町長 住宅地で人身被害が発
生する危険状況の場合、屋外
の緊急放送を実施し、警察と
連携して付近の警戒に当たる。

教育長 各学校にクマよけス
プレー各2本を配備。登下校
時の安全のため、スクールガー
ドにクマ鈴を配布。玄関の施
錠管理、巡回パトロールな
ど、安心できる体制を徹底。



あかまる ひで お
赤丸 秀雄 議員
(新誠会)

動画は
こちら ▶



部活動地域移行準備を早めよ 関係団体などとの協議に努める

質問 部活動の教職員登録が今年10月から始まる。

公認資格取得研修の期間を考慮すれば、早期対応が必要では。

教育長 関係者および関係団体と協議を始めている。

他市町の取り組み動向も踏まえ準備していきたい。

質問 スポーツ大会には学校長の推薦があれば参加可能であるが、対外試合などは公認資格者同行でなければ制約があると聞く。

早急な取り組みが必要では。

教育長 状況を確認し、部活動に支障が出ないよう対応に努めていく。

学校体育館の 利便性向上を

健康第一の 利用に努める

質問 学校体育館は夏場の熱中症対策が必要。災害時の拠点避難所でもあり、もう少し快適な利用提供に努めるべきと考えるが、その対応策は。

教育長 体育授業では暑さ指数を確認し利用している。

各体育館に可搬のスポーツクーラーを導入し、運動時に心身のクールダウンなどに活用している。

なお、エアコンは暖房機能も有している。

町民の更なる 防災意識醸成を

体験する訓練 継続が重要

質問 防災意識醸成には避難訓練が最重要と防災関係者は常に述べる。正常性バイアスを認知し、行動に移すには繰り返しの訓練が必要では。

町長 今後も関係機関と連携して、町民が実際に体験する訓練の実施により、自助の意識と共助の意識を町全体に広がるよう努めていく。

田んぼダム 取り組み拡大を

関係者に周知 認知を図る

質問 減災への取り組みのひとつに、田んぼダム設置が全国的に注目されている。

安価で設置できることから町内への設置拡大の考えは。

町長 町も積極的に導入を促しているが、農業者の協力が必要なことである。今後も関係者と課題など協議しながら、周知活動に一層努める。



ハンドボール部の合同練習（町内中学校2校）

「学びの多様化」への取り組み

自分に合った学びの機会を



ふじわら しんえつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)

動画は
こちら



質問 令和6年度の文部科学省の調査で、不登校生が全国の小中学校で35万人を超えた。これを踏まえ、国は各都道府県・政令指定都市に1校以上、将来的には300校の「学びの多様化学校」を設置するとの報道があった。県もこれを受け、令和10年春を目途に県立高校に開設するとの報道であるが、町の「学びの多様化」についての考えを伺う。

教育長 町内の過去3年間の不登校児童生徒の出現率を比較すると、小学校では2%台で大きな増減は見られず、中学校では昨年度は5.7%と改善傾向にある。未然防止・早期対応に努め、保護者との連携、児童生徒一人ひとりの思いを大切に対応している。

また、県立高校に「学びの多様化学校」が設置されることは、生徒が自分に合った学び方を選択でき、等しく学びの機会が得られると捉える。

起業支援で地域経済の活性化を

「企業価値担保権」に係る情報交換を



草が生い茂る、ほ場

質問 本年5月に「企業価値担保権」という新たな担保制度の創設を柱とした「事業性融資の推進等に関する法律」が施行されたが、具体的な動きは。

町長 制度開始3カ月で、具体的な事例や情報がないこともあり、具体的な支援には至っていない。また、当該融資に関する情報がないので、矢巾町金融団および商工会と

「企業価値担保権」に関する情報交換の機会をいただく。

相続人不確定な土地建物の管理

相続人の有無を確認しながらの対応

質問 相続人が不確定なまま管理者が不在な土地・建物の相談件数は。また、傾向は。

町長 相談は令和7年度3件、令和8年度5件。今後、増加傾向に推移すると捉えている。相続人調査や対象者が判明した場合は、適切な管理を通知し、所有・相談者からの相談にも応じている。

質問 相続人が確定されない場合の資産管理は。

町長 債権者などの利害関係者または検察官の請求により、家庭裁判所が相続財産清算人を選任し、この清算人が相続財産の保存・管理および清算にあたるという制度が設けられている。

町も対応策を検討していく。



さいとう かつひろ
齊藤 勝浩 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら ▶



現代の環境変化への対応は 持続可能社会の確立へ 全力で取り組む

質問 第8次総合計画に沿った取り組みを令和8年度の施政方針で発表されたスマートシユリンク政策（賢く縮む）へどう落とし込み、各宣言も踏まえた未来予想戦略へどう取り組むのか。

町長 単なるまちづくりの縮小化を目指すのではなく、行政サービスのDX化の促進を行いコストの削減を図る。次に公共施設のあり方検討と持続可能な都市構造への転換を緩やかに誘導する立地適正化計画の策定を行い、人口減少を前提とした行財政運営への転換を進め、町民が将来にわたって安心して暮らし続けられる取り組みを進める。

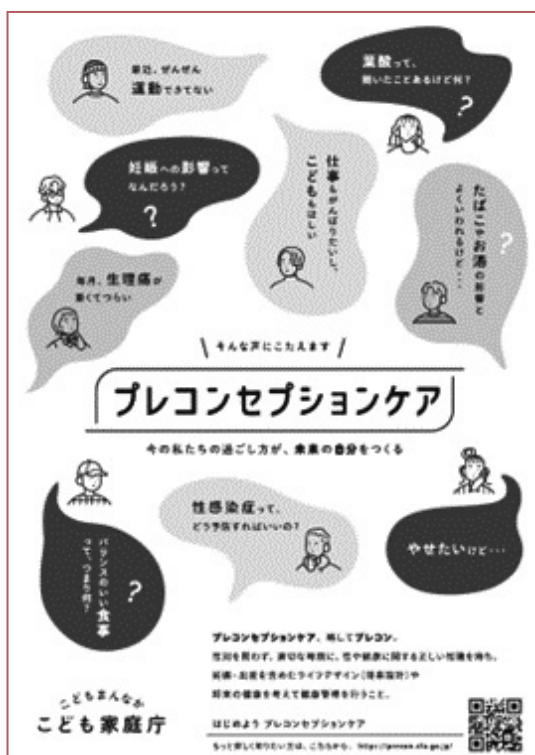
組んでいるが、町民へ将来を見据えた新しい生活感や気候変動対策への意識付けが必要だ。特に熱中症対策への啓発対応は喫緊の課題だがどうか。

町長 町の温暖化対策公共施設CO₂排出量ゼロ対策は計画どおり進行している。しかし、町内全体のCO₂削減は最新の調査で基準年度比（平成25年）5%の減少に留まり、目標達成へは町民や官

民一体となった強化取り組みを進める必要がある。熱中症対策へは、クーリングシユルターの増設や農業者への啓発活動を強化推進する。

質問 町は目指せ日本一健康な町やばば！のスローガンのもと、健康長寿のまちづくりの推進を図ってきた。

高齢化が加速する中、医療費制度改定対策や気候変動対



応も踏まえた健康増進策が必要だが。

町長 高齢者の健康増進は、生きがいづくりとして、地域居場所づくりや地域協働健康づくりの推進を図り成果を上げている。今後も自分の健康は自分で作る意識向上策を継続し、社会保障制度の財政健全化に注力した運営をする。

子育て環境充実への取り組みは 先進事例を参考に 取り組む

質問 子育て制度は充実しているが、合計特殊出生率は年々下降している状況だ。町の未来を担うためにもこの課題分析と解決への対応が必要だがどうか。

町長 合計特殊出生率の低い要因として、産後の生活の見通しが関連していると想定。

※プレコンセプションケアの普及啓発に努め、子育て世代のニーズを的確に把握する。

プレコンセプションケア…若い男女が将来のライフプランを考えながら、日々の生活や健康に向き合うこと。

図書センターの利用促進を 知的資源として広く活用



やまもと よしあき
山本 好章 議員
(新誠会)

動画は
こちら



質問 現在何冊の図書があり、そのうち何冊を備品として管理しているのか。

また、年間の新規購入冊数および除籍冊数はどの程度か。

教育長 図書センターにおける現在の蔵書数は、令和8年7月末時点で82,598冊となっており、物品管理規則などに基づき、原則としてすべての図書を備品として管理している。

また、年間の新規購入冊数は約2,500冊、除籍冊数は約20冊から30冊となっている。

質問 適正な財産管理を維持しながら、現場の事務負担を軽減するため、財務規則や物品管理方法そのものを見直す考えはないか。

教育長 県内他自治体の取り組み事例なども参考にしながら、担当課などと連携を図り、運用ルールの見直しについて検討を進める。

質問 図書センターの蔵書について、90,000冊にするとという目標を掲げている。「町民に利用される知的資源」として最大限活用する図書行政へ転換していく考えは。



矢巾町図書センター（やはばーく2階）の利活用で読書推進を

教育長 成果の視点を取り入れながら親しまれる構成を図り、各世代の需要に即した選書や蔵書の活用が図られるよう、利用者の知的資源として広く活かされる図書行政の推進に努めていく。

学校再編整備 計画の現状

素案完成後に 意見聴取

質問 令和8年度中に学校再編整備計画の素案を作成するとしているが、現在、どの段階まで検討が進んでいるのか。

教育長 再編に関する基本方針に基づき、現在、安全安心な通学環境の確保や、9年間の義務教育のあり方などについて、庁内関係課などにおいて多角的な調査および検討を進めている。

質問 小中一貫教育や義務教育学校なども含め、本町として9年間の義務教育をどのような形で構築していく考えなのか。

教育長 中学校区を基本とした小中一貫教育を基軸とし、9年間を見通した計画的および系統的な教育課程や指導体制を整える方向で推進していく考えである。

素案完成後の意見聴取や各種情報の精査結果などを踏まえ検討していく。



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(不来方)

動画は
こちら



地域農業を誰が支える

新規就農者育成が重要

質問 営農組合の高齢化や担い手不足、農地集積など、今後の課題をどう捉えているか。

町長 営農組合の高齢化と担い手不足により、農地や水路の維持が難しくなる。

米の生産コストは、玄米60kg当たり2万5,535円で、令和8年産米の概算金がこの額を下回る可能性もあり、新規就農者の確保への影響を懸念している。

質問 農産物の販路拡大と付加価値向上にどう取り組むか。

町長 岩手中央農協は本町の米の主な販売先を確保し、農業者の安定した所得につなげている。

町も「銀河のしずく」をふるさと納税の返礼品として取り扱い、PRに努めている。

質問 販路開拓や商品開発を一体的に担う「地域農業の営業部」を構築しては。

町長 理想的ではあるが、現時点では難しい。まずは、食料自給率の低下が農業者の所得確保の妨げとなる可能性に対応する。令和9年度からの国の新たな水田政策で、安心して営農を続けられる支援を国に求める。

魅力と活力ある 消防団へ

多様な人材の 活用を検討

質問 学生団員を含め、住む地域にとられない団員配置や活動体制を検討しては。

町長 消防団は災害時の初動



生産者が安心して生産できる持続可能な農業を

対応や地域とのつながりが重要であり、単純に住む地域にとられない配置は難しい。

地域ごとの世帯数や団員数などを総合的に考え、消防団や関係機関と協議しながら検討する。

質問 今後、消防ラッパ隊に学校や学生などの地域人材を活用しては。

町長 団員確保や活動体制の維持が課題である。学校や学生、特定の活動や災害対応に従事する機能別団員など、多様な人材をさらに増やし、活用する必要がある。

質問 ドローン部隊の活動車両確保は。

また、消防団自らがSNSで発信する体制を整えては。

町長 既存車両は主に防災学習車としているが、配置状況や活動内容を踏まえ、有効な活用方法を消防団と協議する。広報は消防団長を中心に、自主性を尊重しながら、消防団自らが継続的に発信できる仕組みを整える。

草刈りが困難な地域は 順調に活動を実施



たかはし けいた 議員
高橋 敬太 議員
(不来方)

動画は
こちら



質問 草刈りの困難を把握しているか。

町長 道路や河川などについては全て順調に活動されている。困難な場合は現地確認をし、対応を検討する。

質問 地域からは困難という声を多く聴く。相談を待つだけではなく、各地域の負担を把握する必要があるのでは。

町長 高齢化で厳しいという声はいただいている。外部委託の交付金についても検討したい。

質問 公民館の老朽化による修繕や建設に対しての住民負担増が懸念されるが、対応は。

町長 補助金の補助率や上限額の見直しを検討している。



地域の草刈りなど、維持管理の負担軽減策を

質問 地域の居場所づくりで活動資金不足など、困りごとを聴く機会はあるのか。

町長 金銭の不足という声はいただいている。居場所の代表者交流会を行っており、そこで実情を把握している。

質問 人口が少なく、さらに管理面積が広いコミュニティはさまざまな負担が大きいのではないか。

コミュニティへの交付金

望むだけの子を 育てられる町へ 子どもを持つ際の 課題について調査

は、そのような地域特性による加算を検討すべきでは。

町長 面積割も検討したが整理が難しい。不公平感がないように今後も検討したい。

質問 子どもを持つ際の課題を把握し、町の政策で改善可能な事業を検討しては。

町長 今後検討する。

質問 高校生の通学や入学に対して支援を行っている自治体が県内にもあるが、本町ではどうか。

教育長 本町では奨学金により必要な方へ支援している。

質問 児童が学校開門前に外で待つという状況への対応は。

教育長 家庭での対応と地域の見守り双方で検討したい。

質問 性暴力など、対面で大人に話にくいことも想定される。

児童生徒が自ら気軽に SOS を発信できるように、1人1台端末に機能追加しては。また、試験的に実証実験ができるか。

教育長 県と足並みをそろえて対応する。

実証実験の試行もあり得ると考えている。



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党矢巾町議団)

動画は
こちら



南昌みらい高体育館 説明会への出席は 出席の意向はない

質問 矢巾町と岩手県教育委員会が共創プロジェクトとして進めてきた南昌みらい高校の新体育館建設が中止となった。岩手県教育委員会は、校舎敷地内に県独自で体育館を建設することとした。

町長 矢巾町が覚書に反するゼロベースでの検討を主張したことが要因として、工事関係者と設計業者へ支払った1億5,700万円余を、矢巾町に損害賠償請求した。

矢巾町は応じることはできないと回答したため、県教委は裁判所に調停を申し立てた。住民団体が町の情報公開条例を活用して県教委と町のやりとりに関する情報の開示を求めたが、開示しないと回答した。その理由を伺う。

町長 詳細をお答えすること

は差し控えるが、関係法令に基づいて対応をしていく。

質問 住民団体主催の説明会に県教委は出席の意向を示したが町の考え方を伺う。

町長 本町において出席の意向はない。

ごみ処理広域化 計画とごみ減量

適正な

分別化を啓発

質問 盛岡広域環境組合では盛岡地域8市町によるごみ処理施設建設計画を進めており、今年度は事業者選定の予定である。

施設建設から維持管理までで約1,500億円であり、本町の負担額は約70億円である。施設稼働後は、ごみの排

出量に応じた処理費用が加わる。ごみ減量の一層の取り組みが重要ではないか。

町長 ごみの組成調査により燃やせるごみのうち1割程度が資源化できることから、適切な分別化を啓発していく。

学校再編計画は 8年度に素案作成

質問 徳田小学校は、建築から55年経過している。いつまで使用する予定か。

教育長 遅くとも令和22年には移転の必要がある。

質問 統廃合を計画する前に適正規模になるように学区の再編をしようか。

教育長 現時点で見直しは考えていない。

質問 徳田小・不動小とも地域の文化、コミュニティの拠点であり、残すべきでは。

教育長 両小学校が果たしてきた重要な役割は深く認識し、尊重している。

「宣言」の今後の活用は 総合計画の指針に位置づけ推進



こん 昆 秀一 議員
(新誠会)

動画は
こちら



質問 自治体における宣言の位置付け、過去に制定した各種宣言の目的や当時の社会的背景の捉え方は。

町長 「宣言」とは、町の目指すべき将来像や理念を行政運営の指針とし、町民の願いを形にしたもの。

質問 宣言の理念を施策に反映させる推進体制・進行管理、および若い世代・転入者などへの効果的な周知・協働に向けた広報活動は。

町長 周知と啓発については、広報紙やホームページだけでなく、SNSなどのデジタルツールや若い世代向けの広報を活用。転入者手続きの際などにも周知を深める。

質問 時代の変化に応じた既存宣言の発展・見直しの考えを問う。

町長 見直しに対する考えは、時代に伴う新たな行政課題への対応や進展は重要だが、これまでの町の発展を支えてきた先人の想いや背景を鑑み、宣言の見直しについては慎重に判断する。

認知症の人にやさしいまちづくり やはば 宣言

認知症は特別なものではなく、多くの人がなり得る病気です。
超高齢社会を迎えて、誰もが認知症の人を支え、あるいは認知症の当事者や家族として、認知症と共に歩む時代になりつつあります。
認知症の人と接するときは、3つの「ない」を心がけ実践します。
～ 驚かせない 急がせない 自尊心を傷つけない ～
私たちは、町民みんなが認知症を正しく理解し、3つの「ない」を心得ることで、認知症の人たちも、あるいは認知症になっても、誰もが住みなれたところで希望を持ち、人生の最期まで心豊かに、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指すことを決意します。
矢町町は、私たちの連れるべしとしている町民憲章に「和といったわりと希望の町」を掲げています。
その礎のもと、矢町町は、町民みんなが、世代や立場を越えて認知症の人やご家族に和といったわりのある、温かい心の通った支え合いにより、認知症の人たちも希望を持ち続け、安心して気兼ねなく社会に参加することができる認知症の人にやさしいまちづくりに取り組むことをここに宣言します。

令和 4 年 11 月 5 日

矢町町長

高橋 昌造

宣言はただするだけでなく検証が必要では

を踏まえた中長期的な財政運営方針は。

町長 財政指標の目標については、基金残高が標準財政規模の10%を下回らないこと。実質公債費比率15%未満を目標として中長期的・計画的な運営を推進する。

質問 事務事業・行政評価結果の予算編成への活用、および老朽化する公共施設・インフラのマネジメント方針は。

町長 評価・管理手法の活用は、事務事業評価や既存システムを活用し労力を削減。公共施設マネジメントに基づき、既存施設の有効活用や予防保全、統廃合・複合化などで維持管理経費を縮減する。

質問 行政DXについて、デジタル技術やAIの活用による業務負担軽減と住民サービス向上策は。

町長 定型業務の負担軽減と業務改善を目的としたDX推進計画を進め、生成AIについても今年度内の導入に向けて準備を進めている。

中長期的な 財政運営方針は 計画的な 運営を推進

質問 行財政の定義・一体的推進の考え方は。

また、人口変化や物価高騰



令和8年12月19日(土)開催決定 町民と語る議会フォーラム

参加者募集・事前申込を！

開催日

12月19日(土) 午後1時から
午後3時30分まで

受付：午後0時30分から

場所

**矢巾町公民館
3階 大研修室**



田園ホールに隣接する施設です

申込方法

矢巾町議会事務局あて
電話・メール・FAXで受け付けます

★申込に必要な事項

氏名・お住まいの行政区

☎ 019-611-2801 (直通)

FAX 019-611-2809

✉ gikai@town.yahaba.iwate.jp

11月25日(水)まで

内容

第1部 議会活動報告

第2部 ワールドカフェ方式による意見交換会
(SOUNDカード使用)

テーマ

矢巾町議会の
ありたい姿について

第2部では、
矢巾町議会アドバイザーの
さとう あつし
佐藤 淳 教授
(青森大学)をお招きし、
SOUNDカードを使って
気軽なかたちの楽しい
意見交換会とする予定です。



令和7年度にも実施

【お詫びと訂正】

やはば議会だより237号19ページ「報酬調査3」の表の一部数値に誤りがありましたので、
お詫びして訂正申し上げます。

【正】

	2006年 (平成18年)	2024年 (令和6年)	差 異
新規学卒者(大卒)	205,850円	248,100円	42,250円

【誤】

	2006年 (平成18年)	2024年 (令和6年)	差 異
新規学卒者(大卒)	211,900円	251,300円	39,400円

もつと伝わる議会へ

令和8年8月7日、第2回議会モニター会議を開催し、議会モニター4名と議員が意見交換を行いました。

第2回会議では「やはば議会だより237号」についてのご意見を伺い、「一般質問の見出しがパッと目に入りやすい」「写真がとっても良い」「議員の質問がシンプルで分かりやすい」

といった評価をいただきました。

一方で、「町側の答弁が、結局やるのかやらないのか分かりにくい」「文章が長いと重要な部分が分かりにくい」「記事に強弱をつけようか」など、より読みやすく、伝わる紙面に向けた具体的な意見も寄せられました。



議会モニターとの意見交換

フリートークでは、「議員の学校をまた開催してほしい」「秋まつりの議員ブースで議員を身近に感じた」といった声のほか、議会が取り組んできた活動や成果をもつと町民に伝えてほしいとの意見もありました。

こうした意見交換を重ねる中で、町民と共に歩む議会づくりに一歩ずつ進んでいると感じています。

いただいたご意見は、今後の議会だよりや広報・広聴活動に活かし、より身近で、わかりやすく伝わる議会を目指していきます。

広報広聴常任委員会

委員 横澤 駿一

矢巾町議会モニター会議の報告書は、議会ホームページからも閲覧できます。

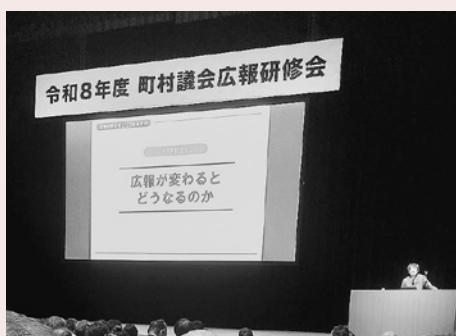


全国広報研修に参加

令和8年8月28日、東京都渋谷区にあるLINE CUBE SIIBUYAにて、全国町村議会議長会主催の「町村議会広報研修会」に広報担当議員4名で参加してきました。

議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況で、手を取り読まれる「議会だより」を編集するための研修会でした。

内容は、①住民と議会をつなぐ広報デザイン術（自治体・議会広報アドバイザー



ザーの村田 大地氏）、②議会広報紙のビフォーアフター（インタビュアーの丘村 奈央子氏）、③山形県川西町議会における議会広報の取り組み（川西町議会広報広聴常任委員会の橋本 欣一委員長）の3つの講演を聴きました。

特に広報デザイン術では、読まれるためには住民参加が必要であることを学びました。

広報広聴常任委員会

副委員長 山本 好章



いつ か いち やすし
五日市 梯 さん
(矢巾1区)

傍聴のきっかけは。

今までは仕事中心の生活でしたが、60歳を過ぎて自由になる時間も少しばかり増え、また今年度、自治会の役員を引き受けたこともあって、これからの生活の軸になる町のことを少しでも知っておこうと思い傍聴しました。

傍聴はもちろん、議場に入るのも初めての体験でした。
——傍聴してみても、率直な感想をお願いします。

現代社会のさまざまな環境変化にどのように対応し、将来につなげていくのか。町の施策方針に対する取り組み、進捗状況、評価などについて質疑されていました。
——関心をもった内容は、高齢化が進むにつれて医療や福祉にかかる支出が町の財政を圧迫していきます。

一人ひとりが健康寿命を延ばすことで、いきいきとした人生を楽しむことができる。同時に、財政への負担を減らすことができる。町から検診の案内が届きますが、健康寿命を延ばすためにはまず受診を、ということですね。

議員の仕事については。

町の将来像についてさまざまな視点から問題提起し、町政に反映させるべく活動されていることを伺い知ることができました。

最後に一言お願いします。

議員だけでなく、町長をはじめとした職員の方々のご苦労も垣間見ることができました。安全安心に暮らせる町であり続けるよう、引き続きのご尽力に期待しています。

広報広聴常任委員会

広報 分科会

やはば議会だよりの企画・編集・発行
(年4回発行)

広聴 分科会

議会報告会や意見交換会の企画・運営
(年1回以上)

矢巾町議会の広報広聴常任委員会は、「広報」「広聴」いわゆる「やはば議会だより」を企画・編集する分科会と、「広聴」いわゆる「議会報告会」や町民との「意見交換会」などを企画・運営する分科会があり、それぞれが主体的に活動を行っています。

各分科会の活動の流れや実績をご紹介します。

議会モニターさんからの提案記事♪

広報広聴 常任委員会 とは

1年の流れ

【広報分科会】

4月	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
4月末発行 (4回程度)	定例会3月会議・編集会議を開催 (4回程度)	企画会議(1回)	1月末発行	定例会12月会議・編集会議を開催 (4回程度)	企画会議(1回)	10月末発行 (4回程度)	定例会9月会議・編集会議を開催 (4回程度)	企画会議(1回)	7月末発行	定例会6月会議・編集会議を開催 (4回程度)	企画会議(1回)

【広聴分科会】

これまでの実績

7月27日(日)
第1回
町民と議員をつなぐ会

8月2日(土)
第2回
町民と議員をつなぐ会

8月3日(日)
第3回
町民と議員をつなぐ会

令和7年度

7月21日(日)
第1回
町民と議員をつなぐ会

12月19日(木)
第1回
学生と議員をつなぐ会

令和6年度

11月11日(土)
第1回
町民と議員をつなぐ会

11月12日(日)
第2回
町民と議員をつなぐ会

令和5年度



令和6年12月の学生とのつなぐ会

まちの 人



店内でトヨタ自動車株式会社社長と

カーショップ佐々木 (GR Garage GROW 盛岡)

佐々木 亜夢さん (間野々)

2つの仕事を通して感じるいよ

私は現在、車の整備士とお米農家という2つの仕事をしています。整備士の仕事は今年で10年になります。農業は、祖父から引き継いで始めました。一見まったく違う仕事ですが、どちらにも共通していることがあります。それは、人に喜んでもらえる仕事だということです。

整備士として、特に印象に残っている仕事があります。それは、豊田章男会長の軽トラックを作り、東京オートサロンに展示したことでした。ただ形にするだけではなく、見た人の心に刺さり、記憶に残る車を作りたい。そして、自分たちが作った車を見た豊田章男会長の笑顔が見たい。その気持ちで、仲間と試行錯誤を重ねながら一生懸命作りました。大変なこともありましたが、大きな舞台に展示することができ、「誰かを喜ばせたい」という気持ちが仕事をする上で大きな力になること

を感じました。

一方、農家としては、祖父から受け継いだ田んぼでお米を作っています。農業は天候に左右され、思い通りにいかないこともあります。それでも、春に植えた稲が成長し、秋に無事収穫できたときには大きな達成感があります。祖父が大切にしてきたものを自分が受け継いでいるという責任も感じています。

整備士と農家。仕事内容は違いますが、車を直して喜んでもらえたとき、自分が作ったお米をおいしいと言ってもらえたとき、それまでの苦労が報われたような気持ちになります。

これからも、整備士として技術を磨いていきたいと思っています。そして、祖父から受け継いだ農業も大切にしながら、おいしいお米を作り、自分の仕事で一人でも多くの人を笑顔にできるよう、これからも頑張っていきたいです。

表紙によせて

令和8年9月17日、町営キャンプ場での森林教室に、矢巾東小4年生が参加。当日は秋晴れの中、樹木観察などを通じ、人と自然の関わりを学びました。



あとがき

今回は広報広聴常任委員会の活動内容を掲載しました。これは議会モニターからの意見を取り入れたものです。

これからも色々な意見を参考に作成してまいりますので、皆さまのご意見をお待ちしております。

編集副委員長

山本 好章

発行・編集責任者

議長

廣田 清実

編集委員

委員長

藤原 信悦

副委員長

山本 好章

委員

横澤 駿一

委員

齊藤 勝浩

委員

木村 豊